

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成27年6月18日 (2015.6.18)

【公開番号】特開2013-245322(P2013-245322A)

【公開日】平成25年12月9日 (2013.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-066

【出願番号】特願2012-121376(P2012-121376)

【国際特許分類】

C 0 8 L 79/04 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

B 2 9 C 41/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

B 2 9 K 79/00 (2006.01)

B 2 9 L 23/00 (2006.01)

B 2 9 L 29/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 79/04 Z

G 0 3 G 15/00 5 5 0

G 0 3 G 15/16

B 2 9 C 41/04

C 0 8 K 3/04

B 2 9 K 79:00

B 2 9 L 23:00

B 2 9 L 29:00

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月22日 (2015.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 5 に係る発明は、

像保持体と、

前記像保持体の表面を帯電する帯電手段と、

帯電した前記像保持体の表面に潜像を形成する潜像形成手段と、

前記像保持体の表面の潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像手段と、

前記像保持体の表面に形成された前記トナー像が転写される中間転写体であって、請求項 3 に記載の管状体で構成された中間転写体と、

前記像保持体の表面に形成された前記トナー像を前記中間転写体の表面に一次転写する一次転写手段と、

前記中間転写体の表面に転写された前記トナー像を被転写媒体に二次転写する二次転写手段と、

前記被転写媒体に転写された前記トナー像を定着する定着手段と、

を備えた画像形成装置である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 0 】

(画像形成装置)

本実施形態に係る画像形成装置は、例えば、像保持体と、像保持体の表面を帯電する帯電手段と、帯電した像保持体の表面に潜像を形成する潜像形成手段と、像保持体の表面の潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像手段と、像保持体の表面に形成された前記トナー像が転写される中間転写体と、像保持体の表面に形成された前記トナー像を中間転写体の表面に一次転写する一次転写手段と、中間転写体の表面に転写された前記トナー像を被転写媒体に二次転写する二次転写手段と、被転写媒体に転写された前記トナー像を定着する定着手段と、を備え、中間転写体が、本実施形態に係る無端ベルトが適用される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

全末端基の 70 % 以上がアミノ基であるポリイミド前駆体と、
前記ポリイミド前駆体に対する含有量が 15 質量 % 以上 30 質量 % 以下で、pH が 3 以上 4 以下であり、且つ酸性基を持つ導電材と、
溶媒と、
を含む熱硬化性溶液。

【請求項 2】

前記導電材が、カーボンブラックである請求項 1 に記載の熱硬化性溶液。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の熱硬化性溶液の硬化層を有する管状体。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の熱硬化性溶液の塗膜を形成する工程と、
前記塗膜を加熱硬化する工程と、
を有する管状体の製造方法。

【請求項 5】

像保持体と、
前記像保持体の表面を帯電する帯電手段と、
帯電した前記像保持体の表面に潜像を形成する潜像形成手段と、
前記像保持体の表面の潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像手段と、
前記像保持体の表面に形成された前記トナー像が転写される中間転写体であって、請求項 3 に記載の管状体で構成された中間転写体と、
前記像保持体の表面に形成された前記トナー像を前記中間転写体の表面に一次転写する一次転写手段と、
前記中間転写体の表面に転写された前記トナー像を被転写媒体に二次転写する二次転写手段と、
前記被転写媒体に転写された前記トナー像を定着する定着手段と、
を備えた画像形成装置。